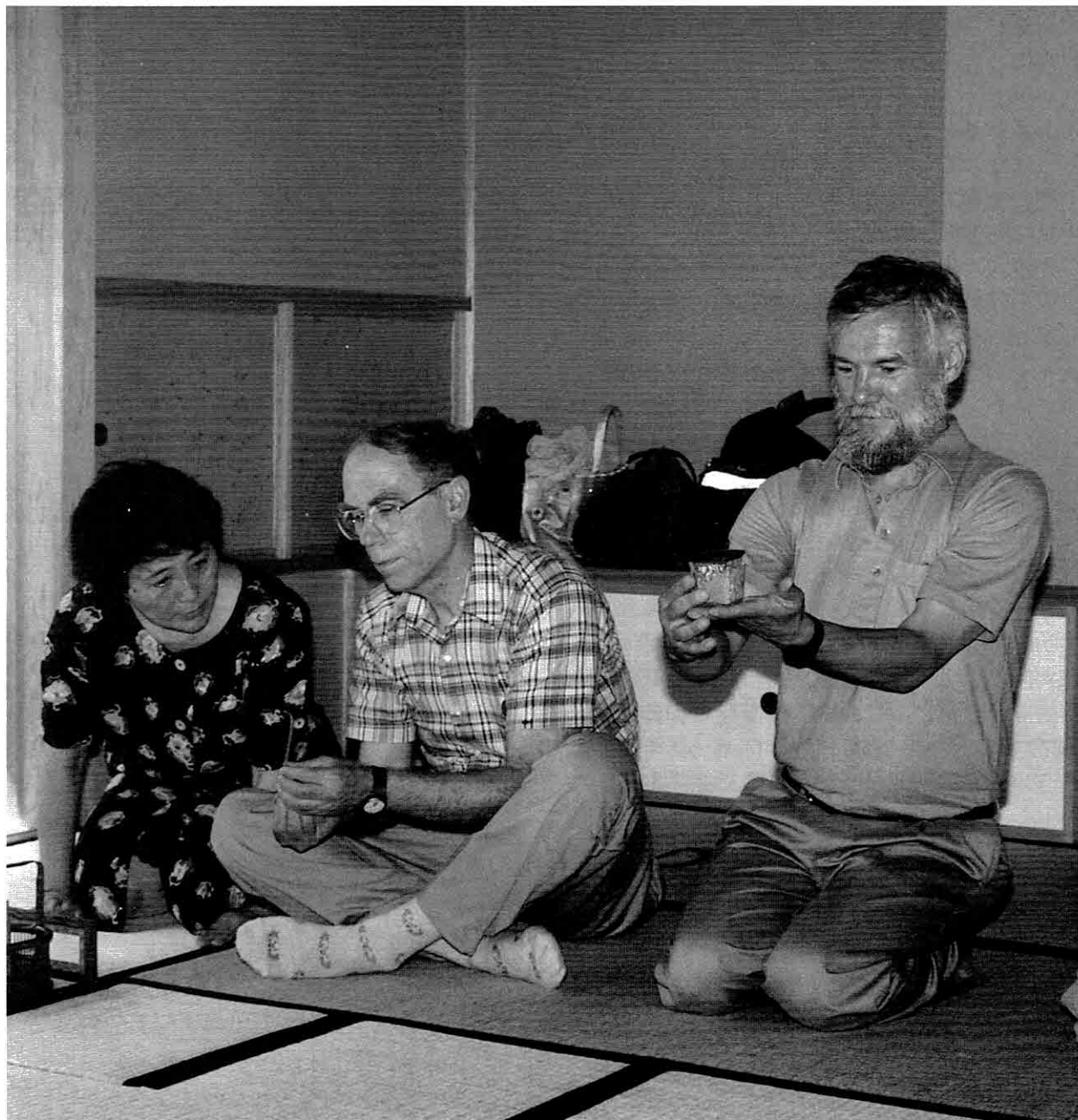




Numazu association for International Communications & Exchanges

—Vol.25—

発行日 1997年8月31日
発行者 NICE 沼津国際交流協会
(企画広報部会)
所在地 沼津市御幸町16番1号
(事務局) 沼津市役所国際交流室内
☎0559-34-2529



これも日本!?

今夏、姉妹都市のカラマズー市（米国）から市民訪問団と高校生が来沼しました。沼津市民との交流会では参加者との歓談を楽しむとともに、茶道など日本の伝統文化を体験しました。

KALAMAZOO DELEGATION WELCOME TO NUMAZU

カラマズー市からは、市民訪問団員11名（7月22日～28日）と高校生2名（7月15日～28日）、そして、6月までカラマズー市に留学していた植松久恵さんのホストファミリーの中学・高校生の兄妹（7月15日～28日）の計15名が来沼しました。

●プロフィール・あれこれ●

沼津からの留学生や日本人のお世話を本当に親身にしてくださるカラマズー姉妹都市協会のロバート・ホール会長は3回目の訪問。知り合いが多いことから、ホームステイ宅の電話は鳴りっぱなしでした。

嵐の影響で、ご主人だけ1日到着が遅れたアルフレッド・ヘイルマン副市長とアン・ハノンの夫妻。10年前にホームステイした高校生が、家族を伴って福井から会いに来ていました。立ち寄った和菓子屋では、ご主人がチョコレート&キャンディ会社の経営者を思わせる一面も。

ホストファミリーを後で寂しく思わせるほどに温かく誠実な人柄だったのはマック・ギルさん。

昨年の沼津からの訪問団員がお世話になったロアンヌ・デロアさんは、ホストファミリーの大学のコンサートへも出かけました。

3年前の留学生・大仲広和さんのホストファミリーだったカ ril・カージェスさんは、今度は大仲家でホームステイ。4年前に来沼した高校生・ケーラさんのお母さんでもあります。

プロカメラマンを自称するヴァージニア・ディーンさんは、御用邸記念公園でビデオ撮りに熱中してバスに乗り遅れてしまいました。最も印象的だったのはセパレート型のバスルームだったとか。

7月25日の狩野川灯籠流しを見て、2年前に亡くなった父親のことを思い出していたのはリサ・キシエルさん。少しばかりの視覚障害も全く問題がありませんでした。

成田空港から沼津に向かう途中で、早くもウナギ丼に挑戦したのはマリーン・シュワルツさん。“何でもトライ”の精神は、手にしている白い杖を忘れさせるほどでした。

仏教と日本庭園、茶道と、オリエンタル好みのウエストミシガン大学助教授のトム・ホームズさんと夫人のローリーさん。自宅に合った掛軸を探したり、座禅も体験しました。

そして、高校生の、本当にキュートなローレンとジーンのゼムリック双子姉妹。2人とも燦々ぬまづ踊りに出場しました。

グレッグとバネッサの兄妹は、植松家でホームステイ。久恵さんと再会し、沼津での生活を楽しまました。



沼津市長と記念撮影

●ウェルカムパーティー●



歓迎会には沼津市長、協会員、訪問団のホストファミリーなど約80名が出席しました。

到着が遅れたヘイルマン副市長も成田空港から会場に直行して参加。アトラクションの白隠太鼓の演奏を堪能。そして、楽しく太鼓を打ち鳴らすシーンもありました。記念品交換では、NICE 会長から弓張り提灯が、訪問団からは副市長の娘さんが描いた花の絵が贈られました。

また、カラマズー市から沼津に来ていた英語教師のジム・ヘイズ先生とデレック・トリゼン

バーグ先生が帰国することから、同席上にて挨拶。別れを惜しみました。

そして、6月に帰国した留学生の植松久恵さんの帰国報告と今年の留学生・石塚恵さんの決意表明も行われ、終始にぎやかな会話が弾む宴でした。

●高校生とのバーベキュー●

柿田川畔でローレン、ジーン姉妹とホストファミリー、協会員でバーベキューを楽しみました。沼津での滞在にも少し慣れた頃、湧き出る泉を見たり、川でボート遊びをしたり、また、バドミントンではしゃぐ姿もみられました。



●市民交流会●

茶道、華道、箏曲、書道、ハンディクラフトを体験しながら両市民が交流する会に約100名が参加しました。カラマズの皆さんにとっては馴染みの少ない日本の伝統文化。実際に見て、聞いて、試すことで、目を輝かせて熱心に取り



組んでいました。

茶室では正座に苦勞しながらお点前を経験。お土産に抹茶を求めていた人もいました。生け花では直線や点の美しさに美の原型を見て、ホストファミリー宅で再度復習した人もいたよう

です。琴の音色には、歓迎会での太鼓とともに“日本の音”を聞き、東の間の古き良き伝統芸能を満喫していました。

また、文字を筆で書く書道は、彼らにとっては時に抽象画、墨絵の世界を想像させ、自筆の作品にはサインをして、大事に持ち帰っていました。ハンディクラフトではビーズのアームバンドと和紙の人形づくりにトライし、お土産にしていたようです。

会場には多くの中学・高校生も来場し、スナックやドリンクを口にしながらの和やかな歓談で交流の輪を広めました。

●沼津夏まつり花火大会●

帰国前夜には、夏まつりの花火を楽しみました。「アメリカで毎年行われる独立記念日の花火大会以上で、こんな立派な花火は見たことがない!」と大喜びでした。

台風之余波で時折雨にみまわれる中、次々に打ち上げられる花火に歓声の連続。最後のナイアガラ瀑布の花火では「ビューティフル! ワンダフル!」の声が繰り返されました。

花火終了直後には突然の豪雨。びしょ濡れになりながらバス乗り場まで歩き、それでも「ウォームシャワーね」と興奮さめやらぬ様子でした。

●送別会●

料理などを一品ずつ持ち寄るポットラック・ランチパーティーには約80名が参加。テーブルには参加者の心づくしの料理があふれるほどに並べられました。

「温かいお持てなしを本当にありがとう」とホール会長。感謝の言葉に続き、ホストファミリーには絵がプレゼントされました。ハーモニカに合わせてスキヤキ、蛍の光の歌を皆で輪になって歌い、名残を惜しんでの会話がいつまでも続きました。



活 動 あ れ こ れ

◆西浦古宇の磯まつりで初夏の海を満喫

5月24日、西浦古宇で開かれた磯まつりに、外国人33人、日本人50人で参加しました。

沼津港から船で会場入りするところから磯の香いっぱい。磯御飯や水軍鍋を味わったり、潮干狩りや魚のつかみどりなどに参加して、沼津ならではの海の行事を体験しました。



◆燦々ぬまづ踊りに出場

7月19日に行われた「市民総参加踊り・燦々ぬまづ踊り」に、NICE チームは外国人10名、日本人25名の計35名で参加・出場しました。

今年は、3年連続の特別賞は惜しくも逃したもののスポンサー賞（NTT 沼津支社賞）を受賞。参加者同士の交流が一層深まりました。



◆国際交流サロンで異文化を体験

5回シリーズで異文化を直に体験する「国際交流サロン」の1回目と2回目が行われました。

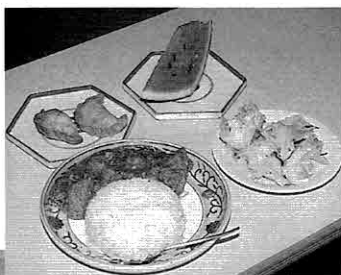
1回目は、「ペルーの民俗ダンスと衣装の披露」と題して7月13日に開催。講師にナタリア福岡さん（菰山町）とケイラはらさん（三島市）の母娘を招き、38名の参加者が民俗ダンスを觀賞したり、ペルーのジュースを味わいながら、ペルーの風土や挨拶言葉などを教わりました。

また、2回目は、8月3日に杉村エニーさん（市内吉田町）を講師に「マレーシア・クッキング・サロン」を開催。マレーシア料理の「カレー・パフ」や「ココナッツ・ライス」などを参加者30名が調理し、賞味・堪能しました。

○ペルーの民俗ダンス



○左上が「カレーパフ」



マレーシアのクッキング○



📌 カレー・パフを作ってみませんか! 📌

6人分

▲包み用生地

[材料]

薄力粉 500g 塩 一つまみ
 サラダ油 75cc 水 100cc

[作り方]

- ①ボウルに薄力粉と塩を合わせ、高めに熱したサラダ油を入れ、スプーンでかき混ぜる
- ②冷めてきたら水を少しずつ入れて手でこね、耳たぶ位の固さにする
- ③4mmの厚さにのばし、コップ等で型抜きする

▲具（中身）

[材料]

牛肉 300g ジャガイモ 2コ
 ニンニク 2片 カレー粉 大さじ4
 砂糖 大さじ2 塩 適宜

[作り方]

- ①ニンニクをみじん切りにする
- ②牛肉をサイコロ大（1cm位）に切る
 *牛肉の代わりにイカやエビでもOKです
- ③ジャガイモもサイコロ大に切り、ゆでておく
- ④多めの油で①②③を炒め、カレー粉と砂糖、塩で味付けして冷ます（水気がないように）

▲仕上げ

- ①具をギョーザのように包む（手早く）
- ②180度の油でキツネ色に揚げ、できあがり!

TEA TIME

体験記



燦々ぬまづ踊りに参加して

 ——ふれあい部会・交流運営委員会
委員長 塩川教夫


第5回の燦々ぬまづ踊りが7月19日に行われた。1回目から出場している沼津国際交流協会は、今年も参加することで5月から準備を開始し、NICEチームの出場者を募った。

昨年までのリーダー役・ふれあい部会長の近藤和子さんが5月下旬に逝去したこともあってか、出場希望者が少ないだけでなく、運営スタッフもどことなく元気がない。今回の踊りのスタッフ長を任された私としては「何とかしなくては」という焦燥感があった。

小林会長から「近藤さんのためにも頑張してほしい！」の檄がとび、7月4日から踊りの練習がスタートした。基本動作の間にインドやタイなどの民俗舞踊の振り付けが入るNICEオリジナルの踊りを、ダンスリーダーの杉原勢津子さんを中心に参加者一人ひとりが声を出しながら繰り返して練習。ステップをしながら一回転していく難しい振り付けには集中レッスンを、また、初めて参加する人にもマン・ツー・マンの指導が重ねられ、次第に昨年の練習時のムードになっていった。

練習の合間には休憩しながら外国の人と談話する場面もみられた。そして、踊りに出場できないにもかかわらず練習に参加してくれた方もいて、NICEの燦々ぬまづ踊りは、出場するだけがその目的ではないことを再認識した。

そして、いよいよ本番。出場者数は昨年よりも少ないままであったが、会員の積極的な誘いで、当日になって出場する外国の人が姿をみせてくれた。その日に東京から沼津に来たアメリカ人男性は、踊りのスタート地点に移動する間に振り付けをマスターするほど熱心に参加。ま

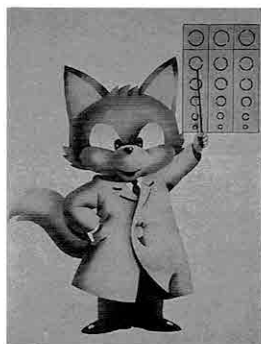
た、姉妹都市カラマズー市から来沼していた女子高生や在住の外国人数名も飛び入りで出場することとなり、より多くの外国人を交え“国際色”が一段と加わったチーム編成となった。踊りは4日間の練習の成果を遺憾なく発揮。全員が本当に一生懸命に踊った。



本番は終わった。控室に戻って冷たい飲物で喉をうるおし、お互いに労をねぎらいながら踊りのことだけでなく話がはずんだ。審査結果の一報が小林会長から入った。「今年も賞をもらいました」の報告で大きな拍手がおり、皆で喜びをかみしめ、そして、また乾杯した。

踊り手だけでなく、NICEチームを支えてくれたスタッフを含め、みんなの満足した笑顔が嬉しかった。みんなの力が一丸となった行事だった。

反省の中では「来年はもっと大勢で出場しよう」の声が多かった。この踊りは、見るよりも参加する方がよいと思う私としては、来年は、たくさんの人に参加していただき、同じ感動をぜひ味わってもらいたいと思う。



静岡東部のコンタクトなら

コンタクトグループ
**“今までも
これからも”**
沼津

沼津駅前パレットビル9F(旧ニチイビル)

☎0559(62)5670(代)

三島

三島市広小路駅前(ミスタードーナツ横)

☎0559(81)1519(代)

御殿場

御殿場市川島田永原 並木(勝俣眼科ビル内)

☎0550(84)2525(代)

NICE イベントインフォメーション

〈いずれも申込み・問合せは NICE 事務局 ☎34-2529〉

岳陽市から2名の看護婦研修生が来沼

友好都市交流の一環として、中国の岳陽市から看護婦研修生が9月上旬に来沼し、11月末まで沼津市に滞在します。この看護婦研修は平成6年度に次ぐもので、今回も NICE との交流が予定されています。

来沼する研修生は、岳陽市第一医院副看護婦長の王本蘭 [ワン ベンラン] さん (35歳) と岳陽市第二病院看護婦の高昆岳 [ガオ クンユエ] さん (34歳)。2人は市内のアパートに寄宿し、沼津市立病院で研修を受けます。

NICE では、この研修生の歓迎会をはじめ、10月には日本文化理解研修に併せた京都へのバスツアーを行います。

★参加者募集！ 岳陽研修生と行く京都時代祭バスツアー

と き 10月21日(火)～22日(水)、1泊2日
内 容 ・10月21日＝7:00沼津→彦根城→京都金閣寺→広隆寺→東山閣(宿泊)
 ・10月22日＝東山閣→永観堂→清水寺→自由散策(三年坂、二年坂ほか)→時代祭見学(京都御所前席)→三十三間堂→21:00沼津

参加費 1人38,000円(宿泊、食事、参観料、時代祭席料を含む)

募集人数 会員40名(申込先着順)

申込期限 9月30日(火)

※集合場所など詳細は参加者に別途連絡します

中国文化理解教室を開催します

中国の文化等を学ぶ講座に参加しませんか。
 ※いずれも申込予約が必要です

★太極拳教室

と き 9月22日～12月8日の毎週月曜日
 (11月3日・24日は除く)の全10回、
 19時～20時30分

ところ 沼津市民体育館

内 容 二十四式太極拳の体験と習得

定 員 会員30名(申込先着順)

参加費 保険料として500円

持ち物 運動のできる服装、体育館シューズ

★中国語教室

と き 10月16日～12月18日の毎週木曜日の全10回、
 19時～20時30分

ところ 市民フロア(沼津市役所別館内)

内 容 普通語(標準語)の初級会話など

定 員 会員30名(申込先着順)

参加費 テキスト代(1,500円程度)

持ち物 筆記用具

★中国料理教室

と き 11月16日(日)、11時～

ところ 第一地区センター(第一小学校内)

内 容 中国の家庭料理の調理と試食

定 員 会員30名(申込先着順)

参加費 1,500円(材料費、保険料)

持ち物 エプロン、ふきん

国際交流フェア・NICE街'97

ナイスガイ



各国の舞踊や歌、料理の試食、民俗衣装の試着、クラフト、ゲームなどを通して、色々な国の人や文化にふれてみませんか。

知り合いの外国人などもお誘い合わせて、多数の方の来場をお待ちしています。

と き 9月28日(日)、13時～16時

ところ 第一地区センター(第一小学校内)

参加費 無料(参加自由)

NICE イベントインフォメーション

〈いずれも申込み・問合せは NICE 事務局 ☎34-2529〉

国際交流サロン PART3 「体験！ インド」

在住の外国人などに母国の文化を紹介してもらい、異文化を肌で感じる国際交流サロンの3回目。今回のテーマ国はインドです。

と き 9月28日(日)、12時～

ところ 第一地区センター（第一小学校内）

内 容 インドの料理、民俗品の展示、インドに関するQ&A（談話）ほか

講 師 シュクリシュナー石井さん

定 員 40名（申込先着順）

参加費 無料

「街角オリエンテーリング」にご参加を！

市民と外国人とがチームを組んで、市内の名所をオリエンテーリングをしながら理解し、交流を深める行事を行います。

と き 10月19日(日)、9時～ ＊雨天決行

ところ 9時に中央公園（大手町）に集合

内 容 外国人1名と日本人2名が1組になり、公共交通機関を利用して市内の指定された6カ所をゲーム感覚で探訪

参加資格 中学生以上

定 員 外国人20名、日本人40名の計60名（申込先着順）

参加費 1,000円（弁当、飲物代、保険料）

受付開始 9月16日(火)

※街角オリエンテーリングの当日のスタッフを募集しています。ご協力いただける方は NICE 事務局までご連絡ください。

英語&日本語スピーチコンテストの 出場者募集

日ごろ思っていること、感じていることを日本人は英語で、外国人は日本語で自由に発表してみませんか！

と き 11月9日(日)、14時～16時

ところ 沼津市立図書館視聴覚ホール

出場資格 静岡県内在住の満18歳以上の人（高校生を除く）

定 員 英語・日本語の部 各10名(申込先着順)

題 目 自由（5分以内、自作で未発表のもの）

賞 各部とも1位～3位に賞状とトロフィー、

副賞を、出場者全員に参加賞を贈呈

※習慣や文化の違いなど、毎年興味深い話題が発表されます。来場して聴いてみませんか！

国際交流ボランティア講座の NICE スタッフを募集

静岡県国際交流協会が中心となり、11月末～来年2月に、県東部地域で4回シリーズの「国際交流ボランティア講座」が開催されることになりました。NICE ではこの行事を共催します。

講座は「国際交流講演会（12月上旬予定、会場は沼津市内）」や「日本語ボランティア講座（1月下旬予定、富士市内）」などで、NICE では、この講座開催のお手伝いをしていただけるチームスタッフを募集しています。

募集定員 会員6～7名程度（所属部会不問）

※4回の講座内容は次号でお知らせします。

◆タイ青年が来沼します

国際協力事業団・青年招へい事業の地方プログラムとして、NICE では9月23日(火)～10月2日(木)に今年もタイ王国からの農業青年25名（男10名、女15名）を受け入れます。

青年は20歳～33歳で、公務員、農業従事者、団体職員、学生など。ホームステイ体験や専門分野の視察・実習等の研修のほか、日本青年との交流も予定されています。

タイ青年のホストファミリー大募集!!

滞在日 9月25日(木)～28日(日)、3泊

募集家庭 25家庭（沼津市近郊）

※応募家庭と青年とのマッチングにより

受入家庭を決定します。

※決定後には説明会を行います。

※早めにご応募願います。

国際交流なんでも情報室

ふれあい部会の 正副会長が変わりました

6月12日付にて、ふれあい部会の部会長が杉山正人さん（前副部会長）、副部会長が杉原勢津子さん（写真）になりました。



両氏は協会の役員（理事）として、これまでのふれあい部会選出理事の残任期間を務めます。

NICE 後援「ヨーロッパ音楽の旅」

メゾソプラノ歌手・勝俣理恵子さん（沼津市出身）のリサイタルです。勝俣さんは東京芸術大学を卒業後、ドイツ国立ケルン音楽大学を卒業。イタリアなどヨーロッパ各地で演奏活動を続けています。

とき 9月20日(土)、18時開場、18時30分開演

ところ 沼津市民文化センター小ホール

歌曲名 イタリア曲「もう君を愛さない」ほか

入場料 4,000円（全席自由）

チケット売場 西武チケットセゾン ☎61-2405

大河楽器店 ☎62-3454

勝俣 ☎51-2099

姉妹都市からの英語教師はヨーキムさん

7月に帰国したカラマズー市の英語教師のジム・ヘイズさんの後任として、エリザベス・ヨーキムさん（Elizabeth Yochim, 24歳、写真）が8月末に来沼。来年の7月まで沼津市内の中学校で教鞭を取るようになりました。



ヨーキムさんはミシガン大学で美術史を専攻し卒業。今回が初来日とのこと。

NICEでは、今後、ヨーキムさんを交えた活動も実施していく予定です。

図書推薦

①「東南アジアの屋台がうまい！～足でつかんだとっておき生情報～」

PHP 文庫／長崎快宏

味覚と好奇心を満足させる屋台グルメの旅にお誘いします。

②「秘伝 香港街歩き術 [改訂版]」

新潮社／藤木弘子

香港の楽しみ方は色々あれど、旅の指南はこれ一冊でOK！

*推薦者：杉山 寿さん（NICE 会員）

国際交流 マナー

◆レディーファースト◆

心得ておきたい国際的な作法や儀礼を紹介します。今回はその1回目。

レディーファースト（lady first）は、宗教などの習慣で実行しない国もありますが、世界中で通用するマナーです。乗り物の乗り降り、ドアの出入りの際などに、男性は「どうぞ」と言って女性を先に行かせます。

このマナーは地位や上下関係とは別。国際的なマナーを心得ている人は社長でもこのマナーを実行します。席に着くときは女性が座ってから男性が座るなど、日本でも特に外国人（中でも欧米人）がいる場合には実行すべきでしょう。

また、女性は、レディーファーストを素直に受けるのがマナーということも覚えておきましょう。

『現代プロトコール（山本節子著、ぎょうせい刊）』より抜粋

会報掲載の
広告募集中

会社や商店等の名刺広告、募集告知など、営利・非営利を問わず掲載します。広告料は2,000円～。申込みと問合せは NICE 事務局 ☎34-2529までどうぞ。